校訓　「正直　勤勉　愛語　進取」　　平成３０年７月２日

# 笠野小学校だより 7月

魅力を奏でる学校づくり　第４号　校長　中谷　昭代

Tel 288-8651 Fax 288-8652 kasano-es@m2.spacelan.ne.jp



大阪府北部の地震犠牲者の皆様への哀悼の意を表すとともに，被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## 全力の練習で魅力を奏でる

### 朝顔や　つるべとられて　もらひ水　（千代女）

１年生の朝顔は，つるがぐんぐん伸びてつぼみが膨らんできました。何色の花が咲くか楽しみです。中庭の野菜は緑濃く，収穫の季節を迎えようとしています。梅雨の晴れ間にはプール開きを行い，今年もプールから子供たちの歓声が響くようになりました。

６月は，４年生の津幡町器械運動交歓会，３年～６年生の河北郡市並びに津幡町の音楽会が行われました。全力の練習で自分の力を磨き，笠野小学校の代表として，立派に演技や演奏を行ってきました。また，５，６年生は隣の刈安小学校と共に，白山麓の豊かな自然に囲まれた少年自然の家で宿泊体験学習行い，協力と友情の絆を高めました。どの活動にも，事前の練習や準備を全力で取り組んできたからこそ，楽しく，充実感があり，それは，自信と生きる力となっていくものと思います。

さあ，１学期の授業日も残すところ２週間となりました。日々の授業も全力で子供たちも教員も取り組んでいます。７月は１学期のまとめをしていきます。自学でも教科書を用いた復習を継続して行い，１学期の学習内容は１学期のうちに，積み残しなく，ぐんぐん伸びる７月にしていきましょう。

## 校訓の「進取」 Enterprise　よいことを実行する初めの人になりましょう

今回は校訓の「進取」について考えてみました。英語では「Enterprise」。
急速な情報化や技術革新により子どもたちの６５％は大学卒業時には今は存在していない職業に就くといわれています。また，今後１０年から２０年で，今の仕事の４７％はＡＩの力で自動化されると予想されています。

本校では開校当時から「進取」の精神が校訓に掲げられていますが，今まさに社会全体が，「進取」の精神の育成に力を入れています。その核となるのが日々の授業です。新学習指導要領となり，教師が教え導く色が強い授業スタイルから，「自ら課題を発見し，他者と協働してその解決を図り，納得解を創り出す」授業スタイルへの転換が求められています。いわゆる「対話的で深い学び」です。その授業の様子は，ＨＰで継続してお伝えしていますのでご覧下さい。

７月の全校集会では，「進取の精神」についてルビーロマンの開発に力を尽くした方のお話をしました。「進取の精神」とは，「進んで取り入れること」で，何を取り入れるのかを考えました。それは，「よいと思うこと，こうなったらいいなあと思うこと」で，そのために，「よいことを実行する初めの人になろう」と伝えました。それは，挨拶を進んでする，返事をしっかりする，みんなのために動く，人の悲しみを感じ取る，よくないことをはっきり止める声を出すなどいろいろ考えられます。

また，日頃から，どうしてだろう，なぜだろう，不思議だなあと思ったことをメモを貯めていき，夏休みの科学研究で追求してみるとよいことを，私の体験談からお話しました。

# 笠野でんでこ太鼓の魅力を精一杯奏でました

## 河北郡市音楽会＆津幡町音楽会



地域の七黒学先生のご指導のおかげで，この地に伝わるでんでこ太鼓を音楽会で披露して，これで７年目となります。今年の「でんでこ太鼓第５話」は，「水と火の恵みをいただき，この地で共に生きる喜び」を表現しました。この思いが，会場中の観客の皆様に感動となって伝わるよう，様々な工夫を凝らし練習を積み重ねてきました。まず，ばちに赤と水色の房を付け，赤い房は火を，青い房は水を表し，自然の恵みを表現しています。このばちを真っ直ぐに持つことにより，腕の延長となり，大きく表現できます。また，太鼓を打つ時の子どもたちの顔の表情，口元，目の力，視線，足の位置，声の響きと，一つ一つに魂を入れ，生命の躍動感と力強さ，共に地に共に生きる喜びを奏でました。一人一人が，集中して自分の力を出し切ることを誓いました。太鼓を貸して下さった公民館の宮森主事さんは，町の音楽会に応援に駆けつけて下さり，「でんでこ太鼓の響きはふるさとの響きとして子どもたちの心にいつまでも残っていくことでしょう」と成功を共に喜んでくださいました。



七黒先生には，曲の構想から，演出，練習と全面的にご指導いただき，心から御礼申し上げます。また，保護者の皆様，地域の皆様，励ましや応援をたくさんいただき，本当にありがとうございました。

# 学校を代表して演技を披露しました　津幡町器械運動交歓会



６月６日（水）津幡町の４年生児童が中条小学校に一堂に会して器械運動の練習の成果を発表しました。私が感動したのは「練習の成果をどうぞ見て下さい」と言わんばかりの力強い意気込みがどの学校からも満ちあふれていたことです。演技もさることながら，挨拶の話を聞く際のしっかりと「はい」という受け答え，演技前に右手をぴんぴんに挙げて自分の指先をしっかり見る身のこなし方，自分の名前を言うときの張りのある声と胸を張って堂々とした態度，演技終了後のきびきびとした移動，何とも言えない清々しさが会場中の観客を包み込みました。




笠野小の４年生７名も大勢の前で一生懸命頑張りました。この日に向けて演技練習は勿論のこと，なんと筋力トレーニングも続けていました。その結果，演技は大成功でした。頑張った後の充実感を味わうことができました。

# 協力と友情の絆　宿泊体験学習　IN　白山麓少年自然の家



←標高１７３６ｍの三方岩岳の頂上です。三方岩岳は石川県白山市と岐阜県白川村にまたがっています。白山をくっきりと眺めることができました。大変珍しいことだそうで，とてもラッキーでした。学校を出発したときは既に気温も上がり，大変暑くなるだろうと予想していましたが，さすが白山麓です。風はさわやかでした。

標高１４６０ｍの三方岩駐車場から登り，途中，涼しげなニッコウキスゲ等の高山植物に疲れも癒されました。山頂で食べたラーメンは最高でした。



→白山白川郷ホワイトロードには，滝がいくつかありました。雪解けで水量はものすごく豊富でした。バスから降りて「ふくべの大滝」を眺めました。落差が８６ｍもあり，ダイナミックにものすごい勢いで間近の滝壺に水が流れ落ち，その音と水しぶきに圧倒されました。





←夕食は，白山麓少年自然の家，名物の陶板焼きです。夕涼みをしながら外の広場で班毎にテーブルでいただきました。豚肉を焼く香ばしいにおいが食欲をそそります。風が強く，火の加減が難しかったですが，森の木々が風と奏でる音を聞きながら，大自然と陶板焼きを味わいました。

夜は雲で月が覆われ，足元も見えないくらい真っ暗な中の肝試し。ドキドキ，わくわく，何とか無事戻ってくることができました。

→２日目，心配していた天気も何とか持ちこたえ，川原でイワナづかみができました。大雨のときは河原一帯水かさが増し，大きな岩が上流からごろんごろん転がってくるとお聞きし，自然の恐ろしさを感じました。イワナづかみでは，生きているイワナをつかまえ，自分で内蔵を出し串を刺すことで，命をいただくということをずっしりと心の奥に刻み込みました。白山麓で五感を働かせてたっぷり自然を味わい，集団生活のきまりをしっかり守り，友情の絆を深めた有意義な２日間でした。



## よいところを見付ける目は，宝の目



先月の生活目標は，「友だちのよいところを見付けよう」でした。全校４つの仲良しグループのメンバーでよいところを見付け合い，カードに書いてポストに入れ，それをお昼の放送で読み上げました。すると，よいところを見付けてもらた子も，みつけた子も，その話を聞いている人もみんながうれしい気持ちになり，ランチルーム全体が，温かく幸せな気分に包まれました。この幸せの源は，「よいところを見付ける目」でした。子供たちには，すてきな言動がたくさんあります。それを見付ける目を育て，よいと思ったことは言葉や文字で伝えることで，幸せいっぱいの笠野小学校になっていきます。

職員も，「笠野子供自慢」の会話を職員室でするようにしています。担任だけではなく，全職員の目でいろいろな角度や場面から一人一人のよいところを見付けるようにしています。それを共有することで，成長を共に喜び合っています。

ご家庭でも，お子さんのよい言動を意識して見付け，口に出して伝えて下さい。それが自分が役に立つ喜び（自己有用感）となり，「自分はできる」と自信が付き，その結果，努力ができる子に育ち，夢の実現へとつながります。できていないこと指摘する前に，できているところを見付けて伝え，その後で，努力の汗をお子さんと共にかいていきましょう。きっと何かが変わります。




## 特別の教科「道徳」　１学期から通知表に評価が入ります

新学習指導要領は，２０２０年から全面実施となりますが，道徳は今年度から道徳科という教科になり，教科書が使用され，評価を行うことになります。１学期の通知表から下記の文部科学省から出されている留意点に沿って評価を行っていきます。

・数値による評価ではなく，記述式です。
・他の児童との比較による相対評価ではなく，児童がいかに成長したかを積極的に受け止め，励ます個人内評価とします。
・道徳性を評価するのではありません。道徳科の授業で特に大切にしていることについて，道徳の授業での成長の様子を評価します。

**◇道徳科の授業で特に大切にしていることは，次の３点です。**

**①問題意識をもたせる**

例えば，挨拶は大切なのにどうしてできないのか，いじめはいけないのにどうしてなくならないか，席をゆずることはよいことなのに，どうしてできないのか等，教材から感じたことや，普段の生活の中で思っていることと関連づけて考えるようにしています。

**②自分のとの関わりで考えられるようにする**

例えば日常生活を想起して考える，自らを振り返ってできている自分，成長している自分，分かっているけれどもできない自分を見つめ自分の課題を見付ける，伸ばしたい自分を深く感じるようにしています。

**③多面的・多角的に考えられるようにする**

例えば，他者の立場で考える，教材の登場する人物に自分を投影させて考える，人間の弱さを理解する，同じ行動をとる場合でも，人によって異なる理由があることを理解するようにしています。

◇道徳の授業については，今後も道徳だより等でお知らせしていきます。授業で考えたことについて人生の先輩としてお子さんと会話していただければ，それは貴重な体験となって生き方について考えを深めることになっていきますので，よろしくお願いします。